

いつもの仕事をもっと安心に。もっと便利に。

ソニックス株式会社

社内ネットワーク 問題解決シート

社内のネット環境を安定させたい。

- ✓ ネットが繋がりにくい
- ✓ オンライン会議がよく落ちる
- ✓ ファイルのダウンロードに時間がかかる
- ✓ 動画のアクセスが遅い

仕事をする上で必要不可欠なネット環境。
しかし、その環境が安定しないと、
打ち合わせに支障が出たり、残業が増えたりと、
様々な悪影響が起こってしまいます。

『社内ネットワーク問題解決シート』を活用して
“いつもの仕事をもっと安心に。もっと便利に。”してみませんか？

<ダウンロード特典>

無料現地調査サービスはこちら
ソニックス株式会社/03-3750-6069



社内ネットワーク問題 抑えるべき4つのポイント

社内ネットワークが安定しないとき、大きく分けて4つの原因があります。それぞれをひとつひとつ確認していくことが、改善の第一歩です。

回線

光回線・プロバイダの問題

契約をしている業者の設備やプランなどが原因で発生するトラブル。
利用者が多いことや設備のメンテナンスなどでネットにつながりにくくなったり、スピードが遅くなる可能性が高い。

環境

LANケーブルなどの問題

社内のLANケーブルの配線に何かしらの不具合が起こったり、Wi-Fi機器の設置環境が悪かったりした際に発生するトラブル。
ネットだけでなく、社内のパソコンや複合機などのネットワーク機器にもつながりにくくなる。

ハードウェア

機器の問題

パソコンやルーターなどの機器に問題がある際に発生するトラブル。
故障や経年劣化、キャパシティの不足などによりネットにつながりにくくなり、最悪つながらなくなるリスクが高い。

ソフトウェア

物理的でない問題

パソコンのOSアップデートや、ネットワーク機器のファームウェアが古いことで起こる不具合。
オンライン会議のときによく落ちる・ネットにつながりにくい・挙動がおかしくなるなどのトラブルが発生する。

<ダウンロード特典>

無料現地調査サービスはこちら
ソニクス株式会社/03-3750-6069



光回線・プロバイダーの問題 回線トラブル

1. 回線の種類を確認

現在契約中の回線種類を確認しましょう。

光回線やケーブルテレビなど、様々な種類があります。

法人プランは月額料金が割高になりますが、混雑する時間帯であっても一定の帯域の確保と通信速度の確保をしてくれるため安定した通信を利用することができます。

※帯域とは・・・

通信に使用される電波・光などの周波数の範囲（最高周波数と最低周波数の差）のことです。言い換えると「データの通りの道の広さ」を示す指標

3. 設備の工事・障害情報を確認

回線やプロバイダーの設備自体が工事・障害により利用できなくなる場合があります。

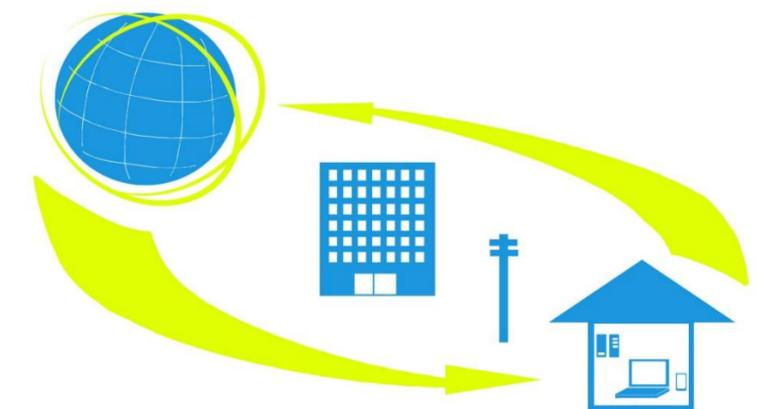
その場合はスマートフォンなどを利用して工事・障害情報が更新されているか確認しましょう。

2. プロバイダーを確認

現在契約中のプロバイダーを確認しましょう。回線とセットになっているケースがほとんどなので、合わせて確認します。

プロバイダーが提供しているプランによって環境が大きく変わるので、①通信方式 ②通信制限 を仕事の内容と照らし合わせて、最適なプランに変更します。

また安価なプランだと利用者数が多くなり、回線スピードは遅くなる場合が多くなります。



<ダウンロード特典>

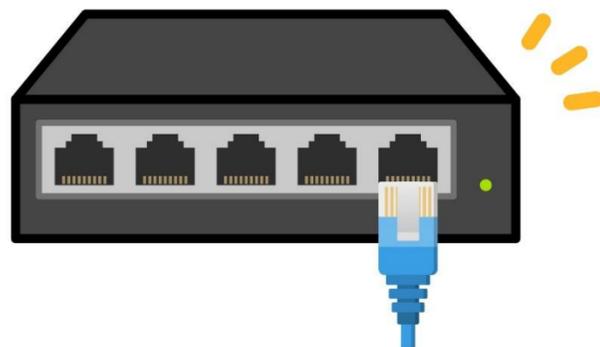
無料現地調査サービスはこちら
ソニックス株式会社/03-3750-6069



LANケーブルなどの問題 環境トラブル

1. LANケーブルに問題はないか

配線されているLANケーブルに物理的な問題が生じていないか確認します。
例えば、長年メンテナンスを行っていないと「見えない部分が断線している」「接続部分の詰めが折れてハブやルーターが抜けている」などの問題が生じている場合があります。またツギハギで配線をしているとどこかでループをしており、うまくネットワークが組めていない場合もあります。
これらは移転やレイアウト変更時によくあるトラブルなので、環境が変わる際は細心の注意を払いましょう。



2. Wi-Fi機器の設置環境を確認

Wi-Fi機器（無線LANループやアクセスポイント）の設置環境を見直しましょう。
これらの機器との設置場所とインターネットを使用する場所の間に、壁や電子レンジなどの電波干渉を起こすようなものがある場合は電波が悪くなる場合があります。
また中継器を使用している場合も同様に、設置の仕方によって電波が悪くなり、つながりにくくなるケースがあるので注意が必要です。



<ダウンロード特典>

無料現地調査サービスはこちら
ソニックス株式会社/03-3750-6069



機器の問題 ハードウェアトラブル

1. ネットワーク機器を確認

社内ネットワークを構成するルーターやアクセスポイント、ハブなどのハードウェア（ネットワーク機器）に以下のような問題がないかを確認しましょう。

- ①購入してから5年以上経過しているか
- ②使用しているデバイス（パソコンやスマートフォンなど）は推奨の接続台数以内か
- ③通信最大速度が1Gbpsかどうか
- ④ルーターのPPPやインターネットのランプは点灯しているか

ネットワーク機器を再起動（電源切入）をすることで一時的に復旧する場合がありますが、根本解決が必要です。ひとつの目安として5年以上使用している機器は寿命が過ぎている可能性があるため定期的に入れ替えることをお勧めします。

また家電量販店などで市販されている無線ルーターは安価ですが、推奨される接続台数が少ないため家庭やSOHO向きです。社員数が5名を目安に法人向けのアクセスポイントへの変更を検討しましょう。



2. 使用中の無線LANの規格を確認

接続している無線LANの規格が利用状況に適しているかを確認します。規格は大きく分けて2種類に分かれており、それぞれ特徴が異なります。

障害物・電波干渉・距離においてそれぞれ長所と短所があるので、特性を理解しながらご利用ください。

この規格は年々新しい規格が出ており、最新のルーターを利用すると高速で接続ができる場合が多いので定期的に見直すことをお勧めします。

項目	2.4GHZ (11n , g , b)	5GHz (11ac , n , a)
障害物	○	×
電波干渉	×	○
距離	○	×

<ダウンロード特典>

無料現地調査サービスはこちら
ソニックス株式会社/03-3750-6069



物理的でない問題 ソフトウェアトラブル

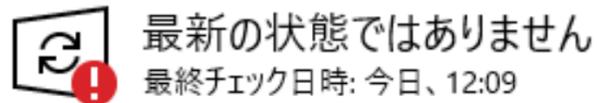
1. パソコンのOS・ソフトは最新か？

配線や機器といった物理的な箇所に問題がない場合は、接続している機器のソフトウェアによる問題が考えられます。

WindowsやMacのOSが最新版でないと接続が不安定になる場合があります。その場合は更新プログラムのインストールを行って最新版にしてください。

またZoomやTeamsなど、利用しているアプリケーションが最新版でない場合も同様に不具合が発生する場合がありますので、最新バージョンにすることをおすすめします。

Windows Update



デバイスに重要なセキュリティ修正プログラムと品質修正プログラムがありません。

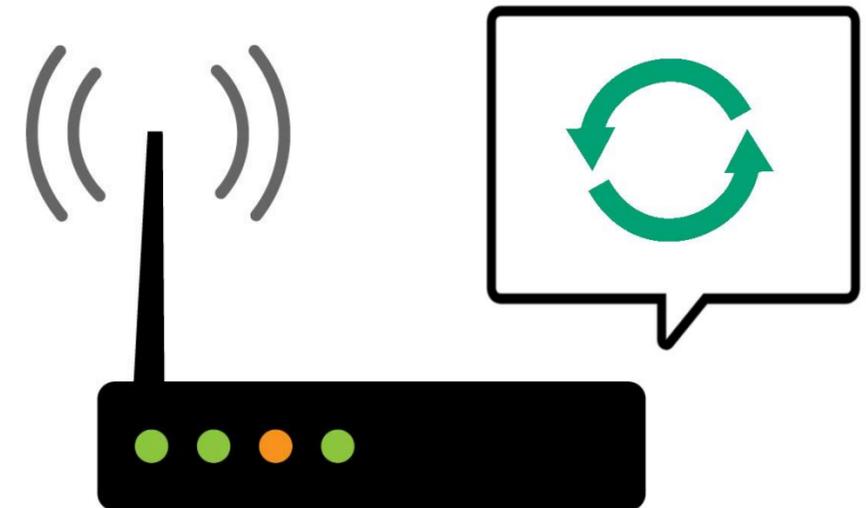
更新プログラムのチェック



2. 機器のファームウェアは最新か？

ルーターやアクセスポイントなどといったネットワーク機器も購入からしばらくするとファームウェアが古くなります。ファームウェアは不具合やセキュリティの脆弱性が見つかった際などにメーカーが提供してくれるので最新版にしましょう。

ファームウェアは管理者モードにてログインするなど、少々知識が必要なので、不安な場合は専門の業者に相談することをおすすめします。



<ダウンロード特典>

無料現地調査サービスはこちら
ソニックス株式会社/03-3750-6069



それでも解決できなかつたら...

ダウンロード特典

無料現地調査の流れ

1

お電話もしくは
インターネットで
お申し込み

ソニックス株式会社

03-3750-6069

受付時間 9:00~17:00



2

日程決定

状況の簡単なヒアリングと
訪問日時の調整

3

現地調査

初回無料の
原因調査

4

解決案の
ご提案

状況に応じた
解決策をご提案

運営会社

会社名	ソニックス株式会社（英語表記：SONIX INC.）
所在地	東京都大田区鵜の木2-18-13 第3ソニックスビル内
代表電話番号	03-3750-6069
代表者	代表取締役社長 金山春樹
ビジョン	「いつもの仕事をもっと安心に。もっと便利に。」
創立	1980年6月1日（創業：1951年7月4日）
事業内容	法人向けPC・サーバー・ネットワークサポート OA機器販売・メンテナンス LAN・Wi-fi・ビジネスフォン工事・オフィス開設・移転支援 各種回線・クラウド導入支援

